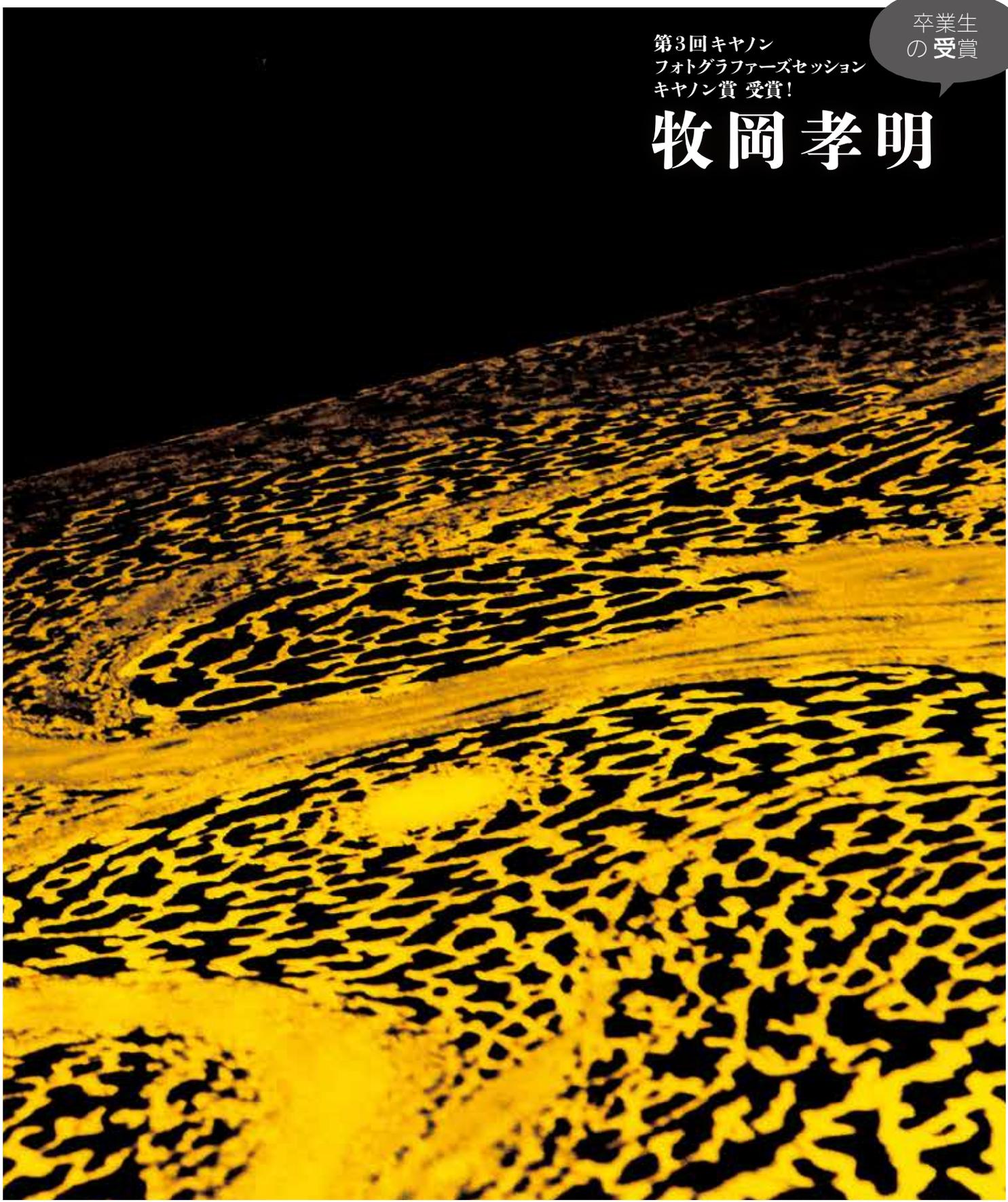


NID News

Latest News
Nagaoka Institute of Design

Summer 2014



卒業生の受賞

第3回キヤノン
フォトグラファーズセッション
キヤノン賞 受賞!

牧岡孝明

第3回キヤノンフォトグラファーズセッションキヤノン賞「Photon Belt」牧岡孝明

卒業生
の受賞

牧岡孝明

第3回キヤノンフォトグラファーズセッションで
キヤノン賞を受賞した卒業生をご紹介します!

Takaaki Makioka

キヤノン賞 受賞!



NIDへ入学した理由

昔から図画工作が好きで、将来はもっと専門的な知識を学びたいと考えていました。NIDに何度か見学に行くにつれ、校内の雰囲気や視覚デザイン学科のカリキュラムに興味を持ったのがきっかけです。

写真の魅力について

写真はありのままを写すイメージがありますが、意外にも狙ったものが撮れるとは限りません。それで苦労することは多いのですが、何回もシャッターを切っていると奇跡の一枚に出会えることがあります。それを見つけ出したときの喜びはとて大きいですね。

どんな大学生でしたか

長いスランプと課題製作に四苦八苦していました。他の皆より落ち込みやすい性格でした。

大学生の時、 印象的だったこと

四年生の時、物事がうまくいかず性根が腐っていた時に、松本明彦先生から励ましの言葉もらった事が一番印象に残っています。あれが無ければキャンノン賞も今の自分も存在していなかったと思います。

卒業研究について 印象的だったこと

写真は印刷によって印象が大きく変わります。私はコルトン紙という透過光を利用できる特殊な紙で印刷しました。展示の際、まるで巨大なスクリーンに映し出されているように見えたのが印象に残っています。

「Photon Belt」

作品は主に理科の実験のような簡単な科学現象をマクロ撮影したものです。



第3回キャンノンフォトグラファーズ セッション - キャンノン賞 - について

私も含めて10人のファイナリストがいました。それぞれが競い合うというよりは、互いに意見を出し合いながらより良いものにしていくという、穏やかなムードが流れていました。立木義浩、横木安良夫両講師による講評も貴重な経験になりました。

写真家としてこれからの目標

まだ社会人になったばかりですが、新作の構成を考えて、空いた時間に撮影を続けていけるようにしたいです。

牧岡 孝明

視覚デザイン学科
平成26年卒業



TOPICS

長岡造形大学 公立大学へ移行

2014
Apr.

長岡市は平成26年3月13日付で新潟県から公立大学法人長岡造形大学設立の認可を受けるとともに、学校法人長岡造形大学においても同日付で文部科学省から長岡造形大学設置者変更の認可を受けました。4月1日には公立大学法人の設立式が行われました。



第3回キャノン フォトグラファーズセッション

2014
May

第3回キャノンフォトグラファーズセッションにおいて、**牧岡孝明さん**（視覚デザイン学科 平成26年卒業）がキャノン賞の受賞を果たしました。

県展

2014
Jun.

第69回新潟県美術展覧会「県展」において在学学生および卒業生が入賞しました。

彫刻部門で**栗橋由実さん**（美術・工芸学科 平成25年卒業）の作品が新潟日報美術振興賞を、洋画部門で**安藤興作さん**（美術・工芸学科4年）、版画部門で**澁谷萌生さん**（美術・工芸学科4年）、彫刻部門で**衣川礼香さん**（美術・工芸学科4年）と**稲越彩佳さん**（美術・工芸学科4年）の作品が入選しました。

日米友好ハナミズキ 記念植樹式典

2014
Apr.

長岡造形大学を会場に、日米友好ハナミズキ記念植樹式典が4月29日の昭和の日で開催されました。このハナミズキは、日米友好の象徴として米国から日本に贈られたハナミズキの苗木3,000本のうち、100本が長岡市に寄贈されたものです。



特集

村上広域観光 ブランディング・デザイン研究会 「今までにないガイドブックを考える」

2014
Jun.

村上市の観光を考える、「村上広域観光ブランディング・デザイン研究会」が発足されました。村上市観光協会と長岡造形大学が提携し、「今までにないガイドブック」を制作・販売します。



6月14日に視覚デザイン学科吉川研究室の学生13名が、村上市の方々に対して新しいガイドブックのアイデアを発表しました。

「村上市の特産物の模様を入れたお土産用クッキーの小包装の中に観光地の案内文を添える案」や、「ガイドブックと共に鮭の加工食品やお茶菓子、温泉に関してなどの試食品・

試供品を実際に試することができる案」など、さまざまなアイデアが披露されました。発表後には優れたアイデアを「実現可能部門」と「創造的部門」に分けて投票を行い、各部門のベスト3を決めました。

また午後からは、実現化に向けて実際に村上市観光協会の方と一緒に新しい切り口を探して、ディスカッションを行いました。そこからガイドブックの制作方針を検討し、新しいガイドブックが今後発刊する予定です。



村上ガイドクッキー



見て、探して、集める色図鑑『むらから』



村上スゴク旅

「村上広域観光ブランディング・デザイン研究会」とは…

村上に住む方々にも村上市それぞれの地域をよく知ってほしいという思いから、各地域で作っていた観光ガイドブックを村上市全域のものとして作ることに。渡辺教授（建築・環境デザイン学科）、吉川准教授（視覚デザイン学科）と村上市観光協会が提携し、この研究会が誕生しました。学生は準会員となり、今後も継続的に活動していきます。



卒業生
の仕事

阿部未加子

Mikako Abe

米菓メーカーでは
日本国内最大手である「亀田製菓」で
パッケージデザイナーとして
活躍している卒業生を紹介します。

NIDに入学した理由

高校卒業後、県外の大学に進学し英語を専攻していました。しかし大学3年生の時「このまま卒業し、絵やデザインに関わらない仕事をしていくのだろうか」と自分の進路に迷いを感じました。その時、高校時代にデッサンを習っていた先生のアドバイスを思い出しNIDの受験を決意しました。良い直感が働いたのだと思います。

大学生の時の思い出

吉川先生のお手伝いで「卒業・修了研究展」のポスターを作成したことが一番思い出に残っています。アイデアの出し方、作業の方法、まとめ方、発注、一連の実務の流れを学ばせて頂きました。

先生はどんな意見も吸い上げてくださるので、怖がらずにどんどん手を動かすことが出来ました。

卒業研究ではお米を使った商品企画を行ったのですが、ネーミングに最も苦労しました。

しかし名前がパチッと決まると、世界観が一気に出来上がっていくということも実感しました。

「卒業研究作品・新潟サン」



特に印象に残った仕事

小児用おかゆのデザインです。新規性のある商品だったので、可愛さの中にも少しだけクセのあるキャラクターをデザインして印象が残るようにしました。

テスト販売から全国販売へ向けて展開の幅が広がるにつれ、リーフレットや雑誌広告などにもデザインを落とし込んでいます。米菓のように販売ルートが確立されている商品ではない分、企画担当の方とつくりあげていく楽しさも、ひと塩です。



「イオンバランスおかゆ」

「亀田製菓」に入社した理由

大学3年次に参加した産学共同研究がきっかけです。プロジェクトを通じて出会った社員の方々の暖かい人柄に引かれました。様々な分野の人たちと関われるという点でも、メーカー勤務のデザイナーに魅力を感じました。長く働きたいので、福利厚生もしっかりとしているところで働きたいとも思っていました。

名前がバチッと決まると、世界観が一気に出来上がっていくということも実感しました。



関東限定販売の「磯小巻」

現在の仕事内容

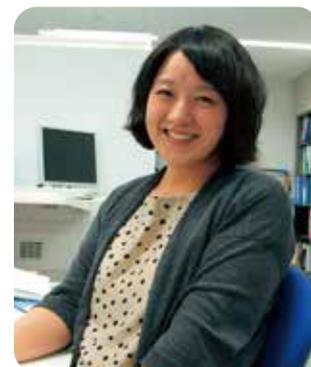
現在は米菓のパッケージデザイン作成を行っています。

主にスーパーマーケットで販売される商品のデザインがメインです。

その他にもコンビニ商品やおかゆのパッケージ、関連会社の催事用ステッカーなどにも携わらせてもらっています。社内ポスターなども作ります。

阿部 未加子

視覚デザイン学科
平成25年卒業





亀田製菓との産学協同研究プロジェクト



市民を対象とした市民工房



小学生を対象としたこどものづくり大学校

地域社会をデザインの実践的な学びの場とし、企業や自治体、コミュニティ、NPO等と協働した問題解決への取り組みを通じて、本学の教育目標に掲げる「社会人基礎力」「構想力」「造形力」を育む

アクティブラーニング(能動的学修)を目指しています。また、地域貢献では、人々の生活から都市空間、産業分野にわたる広い領域に係るデザインの特性とその研究成果を活かし、地域の産業

やまちづくりの振興を図るとともに、こどもから大人までの生涯学習や創作活動の機会の充実に寄与します。

「教育研究」と「地域貢献」の2つの視点から地域社会や企業等と協働し、新たな地域価値の創出をめざします。

地域協創センター

平成 26 年 4 月からの公立大学法人化に合わせて新たに2つのセンターを設置しました。

W センター スタート!

キャリアデザインセンター

『全力支援宣言』

学生たちの就職を中心とした幅広いキャリア形成をサポートすることを目的に、キャリアデザインセンターが新しくオープンしました。



キャリア形成 企業実習・インターンシップ 就職支援

当センターでは、求人・インターンシップ情報の紹介や就職・進路等に関する相談、履歴書添削、面接指導、ミニ講座など、学生一人ひとりの“夢”を一緒に叶えるため、5名のスタッフが全力でサポートを行っています!

キャリアデザインセンターのスタッフ
イラスト 五十嵐日向子(4年)